

件名	第48回 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム 森と水を守る神奈川の挑戦 今そして未来に向けて 開催結果概要
日時	令和4年11月20日(日) 13:00~16:00
開催形態	Zoomによるオンライン配信
内容	<p>1 開催趣旨 今年度から始まる「第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」を県民へ広く周知するとともに、県民と協働して取組を進めていく気運を醸成することを目的として開催する。</p> <p>2 開催内容</p> <p>〔1〕開会挨拶(5分) 神奈川県知事 黒岩 祐治</p> <p>〔2〕『第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画』説明(30分) 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課長 井出 博晶</p> <p>〔3〕市民活動団体の取組紹介(30分) ・特定非営利活動法人 野生動物救護の会 ・森のなかま</p> <p>〔4〕パネルディスカッション(90分) ・テーマ「森と水を守る神奈川の挑戦 今そして未来に向けて」 ・パネリスト：梅津 伸夫氏(タカナン乳業株式会社 品質保証部長(環境対策室長)) 太田 隆之氏(静岡大学地域創造学環・人文社会科学部 准教授) 濱田 真帆氏(NPO法人緑のダム北相模(お茶の水女子大学文教育学部在学)) 長谷部 勇太氏(神奈川県環境科学センター主任研究員) ・コーディネーター：西田 素子氏(水源環境保全・再生かながわ県民会議委員)</p> <p>3 視聴者数 150名(アンケート回答者数 80名)</p> <p>4 開催効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源環境保全・再生施策の紹介では、本県がこれまでに行った取組と成果を紹介するとともに、第4期実行5か年計画で本県が取り組む施策に関する情報を発信することができた。 ・市民活動団体の取組紹介では、多様な団体の活動内容を県民に紹介するとともに、当日開催前に団体同士の交流も図ることができた。 ・パネルディスカッションでは、幅広い年代・分野のパネリストによる討論を行うことで参加者へ県の施策への理解促進を図ることができた。 <p>5 主催 水源環境保全・再生かながわ県民会議 ・県民会議委員の計13名が受付、会場運営、司会、コーディネーター、パネリストを担当した。</p>
特記事項	なし

参考（当日の様子）



配信会場の様子



水源環境保全課長による施策紹介の様子



市民活動団体の取組紹介の様子



パネルディスカッションの様子



実際の配信画面の様子



控室の様子

第48回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム アンケート集計

令和4年11月20日(日)
オンライン開催

【視聴者数】

150名

【アンケート集計結果】

◎回答数 80枚

【回答者情報】

◎居住地 県内 75人、 県外 5人 、回答なし 0人
(内訳)

県内 : 横浜市(15)、川崎市(5)、相模原市(15)、横須賀市(1)、平塚市(4)、鎌倉市(2)、藤沢市(3)、小田原市(3)、茅ヶ崎市(5)、秦野市(3)、厚木市(3)、大和市(1)、伊勢原市(2)、海老名市(3)、座間市(2)、南足柄市(2)、大磯町(2)、二宮町(2)、山北町(1)、愛川町(1)

県外 : 5名 東京都(4)、山梨県(1)

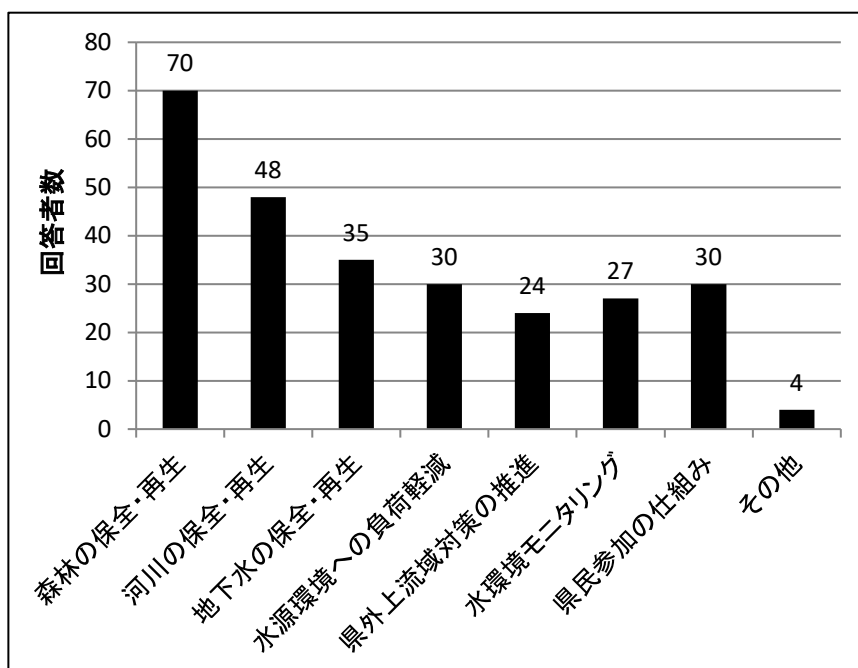
◎年齢

～10代(2)、20代(6)、30代(7)、40代(15)、50代(28)、60代(14)、70代(5)、80代(3)、回答なし(0)

◎現在、環境に関する活動をしていますか

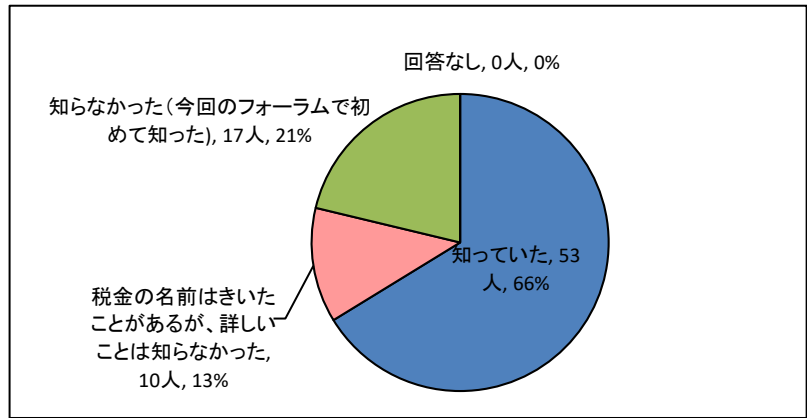
している(37)、していない(37)、過去にしていた(6)

Q1 水源環境保全・再生に関わる問題について、関心があるものは何ですか(複数回答可)



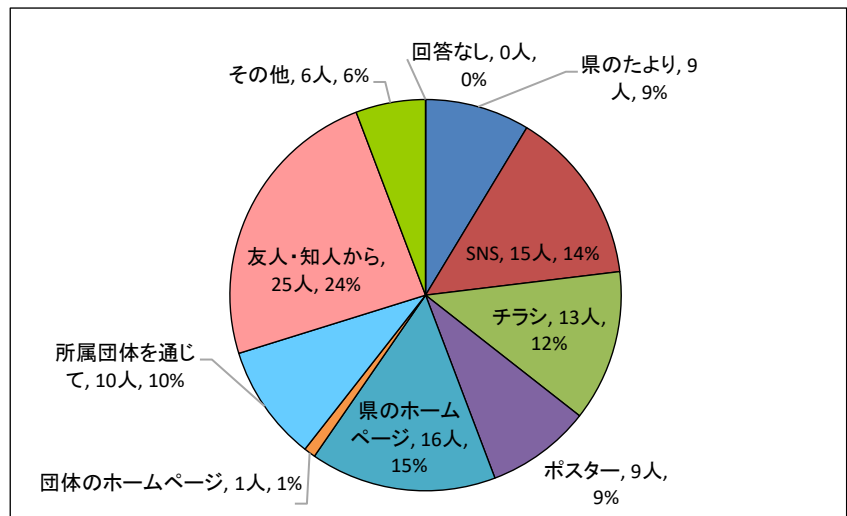
Q2 神奈川県では、平成19年度から個人県民税の超過課税(水源環境保全税:納税者一人当たり年額約880円)を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。
このことについて、ご存知でしたか。

1	知っていた	53
2	税金の名前はきいたことがあるが、詳しいことは知らなかった	10
3	知らなかった(今回のフォーラムで初めて知った)	17
4	回答なし	0
計		80



Q3 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。(複数回答有)

1	県のたより	9
2	SNS	15
3	チラシ	13
4	ポスター	9
5	県のホームページ	16
6	団体のホームページ	1
7	所属団体を通じて	10
8	友人・知人から	25
9	その他	6
10	回答なし	0
計		104

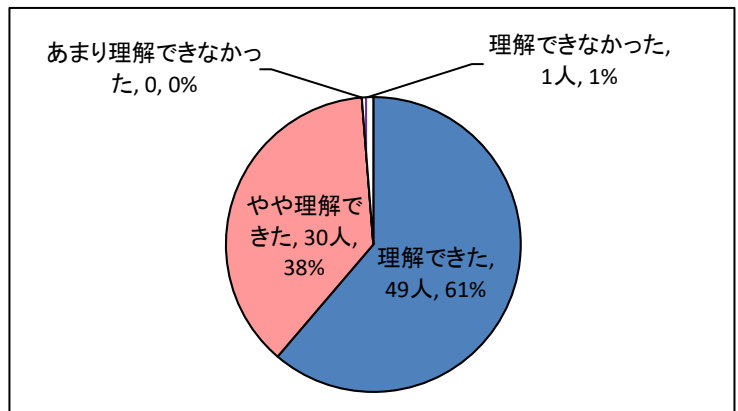


【その他の回答】

- ・職場
- ・神奈川県自然公園指導員連絡会からのお知らせ
- ・以前に水源環境保全県民会議の委員
- ・森林再生課からのメール案内

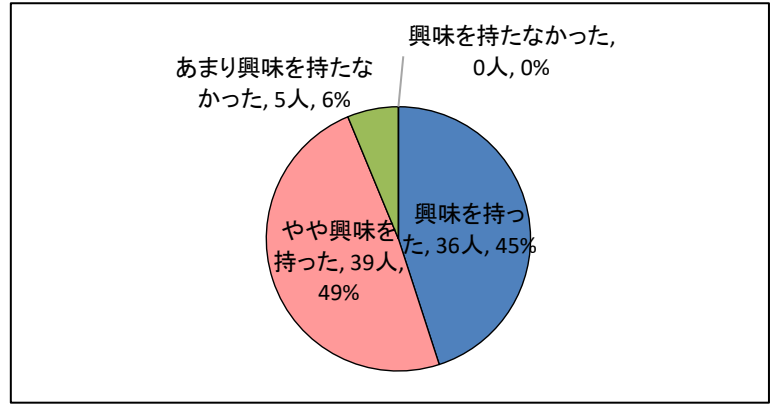
Q4 水源環境保全・再生施策の紹介は理解できましたか。

1	理解できた	49
2	やや理解できた	30
3	あまり理解できなかった	0
4	理解できなかった	1
計		80



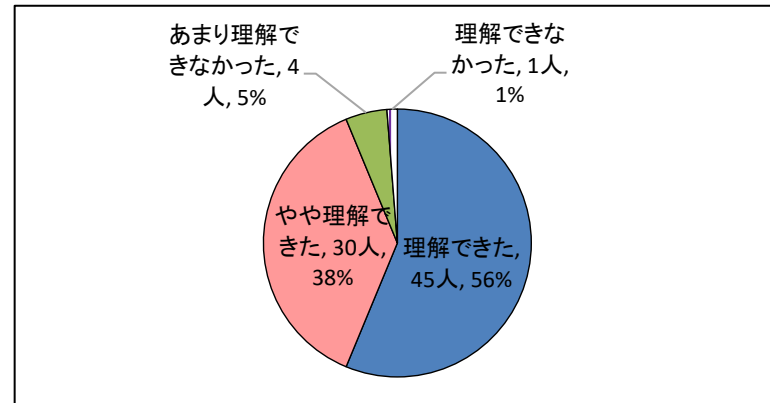
Q5 市民活動団体の取組紹介は、いかがでしたか。

1	興味を持った	36
2	やや興味を持った	39
3	あまり興味を持たなかった	5
4	興味を持たなかった	0
計		80



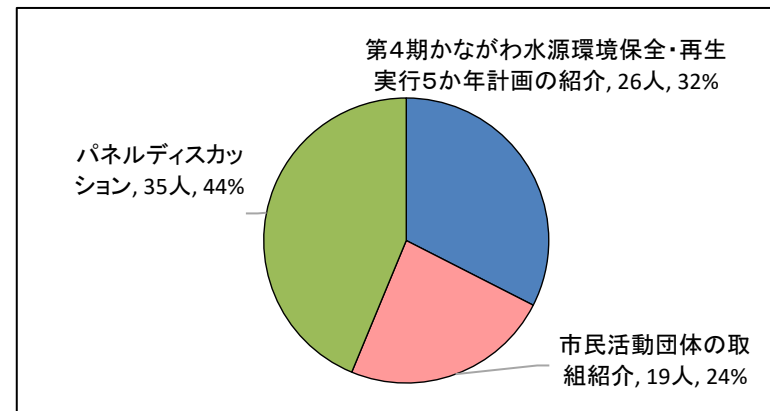
Q6 パネルディスカッションは、いかがでしたか。

1	理解できた	45
2	やや理解できた	30
3	あまり理解できなかった	4
4	理解できなかった	1
計		80



Q7 一番印象に残ったプログラムはどれでしたか。

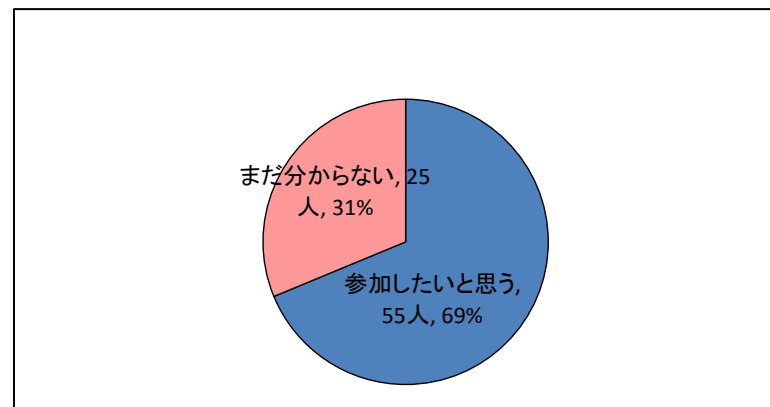
1	第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画の紹介	26
2	市民活動団体の取組紹介	19
3	パネルディスカッション	35
計		80



Q8 県民フォーラムに参加して、今後、環境に関する活動に参加したいと思いますか。

(現在、環境に関する活動をしている人を含めて、今後の考えをお答えください。)

1	参加したいと思う	55
2	まだ分からない	25
計		80



Q9 水源環境保全・再生の取組に関してご意見・ご感想等をお聞かせください。

回答希望の有無について、どちらかに○をつけてください。

回答は後日、県水源環境保全課ホームページに掲載させていただきます。

	森林 関係	水関係	県民 参加	その他	意見	年齢	回答希望の 有無
1	○				シカ対策、水の流出について、具体的にしている事が知りたかったです。	70代	1 希望する
2	○	○			どのような活動をしているのか、県のたよりなど広報紙に具体的に紹介する頻度を増やしてほしい。	50代	2 希望しない
3	○				水源環境保全・再生事業が終わってしまったら、また森林が荒廃してしまわないか心配なのですが、その後に何か計画をしているなら教えて下さい。	50代	1 希望する
4	○	○	○		県民参加形式の、自然保全活動について、もっと企画、発信して欲しい。	50代	1 希望する
5		○			事業を行うだけでなく、きちんとモニタリングしていることに安心した。もっとモニタリングの様子を聞く機会があるといいと思った	40代	2 希望しない
6			○		県の補助金の詳細、活動の様子など、各市町村のsnsなどにも発信してもらえるように連携できればいいのと思う	50代	2 希望しない
7	○	○			神奈川県が取り組んでいる事業の中でも20年の長きにわたる施策で、御苦労も多かったことと推察致します。効果が現れているのご報告。今後も水資源の確保、水環境の保全回復にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。	50代	2 希望しない
8				○	アーカイブ希望です。	40代	2 希望しない
9	○				今回のフォーラムの主題からは外れますが、次のようなことが頭に浮かびました。①気候変動に伴う気象現象の激化が懸念されており、それによって引き起こされる土砂災害が水源地域で発生する可能性があるかと思えます。それによる水への影響がどのようなものになるか検討していらっしゃるかが気になります。②関東大震災では丹沢などで土砂崩れが起きたと聞きます。大きな地震による水源への影響がどの程度ありそうなのか、予想などがあるのかどうかや、対策などが検討されているのかどうか、気になりました。	50代	2 希望しない
10			○		オール流域での順応型ガバナンスがてんかいはされることを望んでいます。20年間の取り組みが終わった後、それをどのように自立させていくか検討されているのか知りたいです。	60代	1 希望する
11	○	○	○		森林(山)水源林、涵養林地域の再生(害獣管理も含め)を地道に進めていき、林松が豊かで、涵養機能を発揮できる豊かな混交林を再生利用していけるように、広報的面も進め、時間と意識を持った中高年層も弱体視せず力を集結してもらえるようにボランティア活動のコーディネートできるとよいと思う。水源林のための税金についても、適正な使用が継続してできるよう、情報公開を進めるべきと思う。地域を支えられる森林、管理捕獲からの畜産系の産業が地域活性化のために起こせるような施策の支援も考えていけるといいと思う。水源に当たる山林が私有地で海外資本の手に渡ることのないような、法・条例整備や所有者の啓発を進めてほしい。	60代	1 希望する
12	○	○			県内全体に対する活動が必要では？	50代	2 希望しない
13			○		会員の高齢化や減少に悩む市民団体が多いなか、活動報告やパネルディスカッションに参加された団体はそれぞれの個性を持って活発に活動されていて素晴らしいと感じました。市民団体の活動は、考え方、取り組み方、専門性などが団体ごとに大きく異なると思いますが、お互いに尊重しつつ緩やかに交流が進むとよいと感じました。	40代	2 希望しない
14	○				人間のみならず、多くの生き物の拠り所である森を、人間の都合だけの考えで壊してはいけない。	80代	
15			○		大学生のパネリストが、県民参加による森林づくりに熱心に取り組んでいることに感銘を受けた。また、彼女の様々な発言は大変示唆に富んでいたと思う。行政にはこうした若い世代の意見を真摯に受け止めて欲しいと思う。	60代	2 希望しない
16	○				シカが影響しているとわかったが、全滅させればよいとは思わない。頭数の調整が必要と思った	~10代	2 希望しない

	森林関係	水関係	県民参加	その他	意見	年齢	回答希望の有無
17	○				地道な活動でも継続している団体に感謝します	70代	2 希望しない
18	○				まずは、着実に様々な施策を実施していくこと、これにつきます。実績が挙げれば、その先に繋がるでしょう。県外在住ですが、応援しております。	70代	2 希望しない
19	○	○			山登りが好きです。最近は登山道の森林が間伐で整備されているのを実際目で見ています。市で取り組んでいるのかな？と思っていましたが、今日のセミナーで全て結びつきました。里山作りや野鳥を守りたいという気持ちは強いです。河川は、海へ続いていて、河川に含まれている鉄分は海のプランクトンやこんぶ、ワカメの再生にも重要な成分です。光合成により酸素を作り出してくれます。固定酸素に繋がります。地球温暖化対策に繋がります。	50代	1 希望する
20	○	○			水は貴重な財産です。今後も取り組みに大いに期待いたします。	50代	2 希望しない
21		○			横浜市は、独自の水道水源林を持って他市とは違う水道事情ということを強調していたが、県の説明を聞いて何だ道志川の水は横浜市の使う水の1割ほどなんだ！横浜市に対して不信感を持った。	40代	2 希望しない
22				○	今日話された中の課題や意見は今後反映されていくのかきになりました。	40代	2 希望しない
23		○			畜産業に従事する者ですが、小山町の鮎沢川流域に世界最大規模のサーモンの養殖場が出来ると聞きました。県として、事業者に調査ヒアリングする機会を設けるべきだと考えます。水質汚濁防止法が出来た当時から比べ、畜産や養魚などの産業規模が倍以上になっている今、業界の健全な発展のためにも、栄養塩の排出の総量規制基準を新たに整備するなど、法的にも現代の産業規模に対する対応がなされるべきだと考えます。	40代	1 希望する
24	○				水源環境保全税導入前に比べて水源林に指定され、整備されてきた森林環境は大きく改善され、水源林としての価値が高まったと思う。この流れは止めることなく末永く引き継がれていくべきである。	50代	2 希望しない
25	○	○			今後より重要となる水資源の確保と保全について、更に積極的に関与していかなければならないので、引き続きの補助と支援が必要。	60代	1 希望する
26	○		○		多くの県民の方々に水資源に関する自然保護活動に参加していただけるように努力したい。	50代	2 希望しない
27	○	○	○		侵入竹林、放置竹林が森林を侵食していることについても、もっと多くの人に知ってもらいたいと思います。今回中学生のうちから間伐などの山仕事を体験したことで、山に関わるハードルが下がっている方々がたくさんいることを知り希望を感じました。山や森林に関心を持ち関わる人がさらに増えてゆくことを期待しています。	50代	1 希望する
28	○				感想：森林保護は植林だけをすればよいというものではないことがわかって勉強になった。間伐という作業も必要であり、大きな木だけでなく下草の保護も必要だということがわかってとても興味深かった。	50代	2 希望しない
29	○	○	○		県民が参加出来る、自然保全活動の更なる企画と、その情報発信を希望します。(参加の機会を増やすため、年度内の単発イベントでなく、複数回あると良いのではないのでしょうか)	50代	1 希望する
30				○	当該分野の情報分析及び情報発信の仕組み。現状県民の殆どに認知されていない。私もたまたま知り合いの市民団体の方からお聞きして参加。	60代	1 希望する
31				○	長い時間だったので、途中頭がぼんやりしてしまいました。	60代	
32	○				水源林保全の中で「鹿」対策が取り上げられませんでした。近年増加して被害も比例していると聞きました。防護柵を徹底して作るか、ハンターにより駆除するしか選択肢は無いので中途半端な対策は意味がないと思います。	80代	1 希望する
33	○			○	パネリストからの意見のとおり通り水源環境の保全は生態系を含む神奈川県の高い自然とにより私たちの命を守る活動なので、第4期かながわ水源環境保全・再生5か年計画の満了をもって神奈川県での役割を終えるのではなく、引き続き事業を継続してください。	50代	1 希望する
34		○			普段あまり意識しないですが、水源環境の保全が大切だと気付かされました。	50代	1 希望する

	森林関係	水関係	県民参加	その他	意見	年齢	回答希望の有無
35	○	○			県立21世紀の森やそこで活動している団体が森林・水源の保全活動、啓発を行っております。今回視聴させていただきましたが、関連が見受けられませんでした。何か理由があるのでしょうか。	60代	1 希望する
36	○				森林の成長の仕組みが、普段、自分が花や植木の栽培の世話と同様に花、植木が森林に変わったものと気づかされ、鉢花の手入れの規模が大きくなったものと考えればよいのだと思った。森林の伐採→太陽の光→葉の光合成。雨(=たっぶりの水やり)→土の水分補給と浄化(細菌を落とす役割も含む)→根が生える→木の成長→実をつける(動物の食料)。今回の参加で、水源環境について教えられたり、気づかされたりしました。ありがとうございました。	50代	1 希望する
37	○				シカによる森林への影響が大きくなっている。最近、豪雨が頻発している。森林が崩れたり、植生の影響を受けると、元の健全な状態や生態系に戻るまで長い時間が必要。今のうちから出来る対策を進めてほしい。	50代	2 希望しない
38		○			ヨコハマ海洋市民大学という実行委員会による講座を主催しています(今年度は9月期)。海好きが海を通して見つけた社会課題を自ら解決する人になることを目標としています。海は海だけでその環境を語る事ができません。水源となる河川や森林の環境と一体で考える必要があるからです。活動発表の方も言及されていましたが、独立した活動だけではなくそのプラットフォームが必要とされています。県には河川は県、海岸線は国といった管理権限を乗り越えてそのプラットフォームになっていただきたいです。	60代	1 希望する
39				○	当日の資料を良く見たいのですが、どこを見れば良いのか教えてください。フォーラムの案内メールや県民会議のページには見当たらないので。また、事前に説明資料を見ておきたいと思いました	60代	1 希望する
40	○	○			森林資源や水産資源を活かす視点からの保全・再生もテーマに入れて欲しい。	70代	1 希望する
41	○	○	○		15年間の活動による短期的な成果として下層植生の回復が確認できたことは良いことだと思います、同時に水源環境の保全・再生のために必要な森の再生という自然の回復には長い年月が必要なことを感じました。- 残り5年間で20年間の活動結果を評価し森の再生へ向けた次の活動へと繋げ、是非とも活動の継続をお願いします。仮に達成できない計画があったとしても失敗から学び森の再生へ向けた活動を継続すること、その失敗の経験と知識を後世に残すことも税金の有効活用だと考えます。森の再生へ向けた次の活動にも引き続き県民が活動を評価し参加する仕組みの維持、改善をお願いします。県の行政が中心となり参政権、発言の機会を持たない森にくらす動植物の立場を知り、代弁し水源環境の保全・再生活動へ反映することで県民の豊かな暮らしも支えていただければと思います。順応的管理という考え方があることを新たに学ぶことができましたありがとうございます。	50代	2 希望しない
42			○		facebookでたまたま知ったが他にアピール方法は？	60代	2 希望しない
43	○	○	○		タカナン乳業の牛乳パックにかながわ水源のもりづくりに協力しています。それに身近に感じ、今回、タカナン乳業が参加する事を知り参加を決めました。パネリストとしての発言内容は、理解できました。また、大学生がパネリストとして参加したのは感心しました。	40代	2 希望しない

合計 28 19 12 6

<<参考>>動画配信中にいただいたコメント

1	上流域の水質保全への取り組みについてですが、上流の浄化センターへのリンの除去剤の投入などを行っています。上流部では未だに高度合併浄化槽への移行が進んでいません。そういった面での対策は何かないのでしょうか。
2	鹿の繁殖で下草が食べられ、森が荒れる原因があるそうですが、鹿狩りなどはどのようになされているのですか？
3	桂川でのリン除去のようすが紹介されていましたが、国土交通省さんなどが肥料などの資源化を推進されています。神奈川県さんは除去されたリンの活用について、どのようにされているのでしょうか。
4	市民活動の補助金に興味があります。流域の上流部、山梨県で活動する団体の活動も対象になるのでしょうか。

5	<p>野生動物救護の会さんに意見というか質問がございます。丹沢山中ではなく、丹沢のふもとの厚木市七沢での調査結果で哺乳類12種、鳥類30種という多様な生き物が生息していることが分かったということは神奈川県に豊かな自然があることが分かりました。</p> <p>今後も調査を継続されることを期待したいと思います。</p> <p>できれば、七沢だけでなく、他の地域でも調査を行っていただければと思いますが、今後の取り組みについて教えていただけますでしょうか。</p>
6	<p>もりのなかまさんから、水源として、人工林の保全のために植林だけでなく、その後の間伐は大切な作業の一つと言われている、その作業が行われていることはありがたいことだと感じました。</p> <p>登山道での標識用のくいなどの事例をあげていらっしゃいました。行政も間伐材を活用されていることが分かりました。</p> <p>間伐材の利用について、さらに広げていただければと思います。</p> <p>神奈川県さんなど行政の間伐材の利活用についての施策がありましたら、教えていただければと思います。</p>
7	<p>森林のなら枯れの問題はどう考えているのでしょうか？</p>
8	<p>環境科学センターの環境DNAの調査に興味があります。県外の上流部での調査も行われているのでしょうか。県民参加とのことですが、山梨県内での調査があれば、協力したいです。</p>
9	<p>良質な水の安定的確保という目的他に森林における人的交流やこれまで放置されてきた森林に人の手が入り木材が利用されるなど水源環境税の効果は幅広い分野に及んでいます。このような活動は森林がある限り、水源を必要としている限り継続してくべきだと思います。</p>
10	<p>鹿のジビエの肉料理を使うことを野生動物救護の会の方は、どのように思われていますか？</p>
11	<p>順応的管理は必要不可欠だと思います。市民、行政、企業、学術分野が一体として事業を進めるにあたって、順応性は、政策面でも行われているのでしょうか。</p>
12	<p>相模湖のアオコ減少について</p> <p>相模湖に行きますと大きな泡が出ているのを見かけ、エアレーションという湖底にある水温の低い水を水面に上げて水温を下げてアオコを防ぐ仕組みと聞いたことがあります。</p> <p>アオコが減少したというのは、栄養塩の減少によるものか、エアレーションによるものか、主にどちらによるものか教えていただけますでしょうか。</p> <p>臭いがしない美味しい水をいただくためにも気になっております。</p>
13	<p>水源税を使った森林整備事業等の公共工事の入札要件についての提案です。</p> <p>一般県民を対象とした森林整備体験や森林環境に関する授業を学校で行うなど水源環境保全の普及啓発活動をした事業者のみが入札できるという発注形式があってもよろしいのではないのでしょうか。県民に対する普及啓発ができると同時に事業者自身にも水源環境を保全しているという意識が高まるという効果が期待できます。</p>
14	<p>環境DNA調査について</p> <p>興味深く感じました。</p> <p>河川での調査となると魚が中心になるかと思いますが、次のようなことを教えていただけますでしょうか。</p> <p>①昆虫など他の生き物が生息しているかどうか分かるのでしょうか。</p> <p>②生息する生き物の種類だけでなく、量的なものは分かるのでしょうか。</p>
15	<p>団体間のつながりについて</p> <p>丹沢大山ボランティアネットワークというNPOなどの団体をつなぐ組織があります。</p> <p>このような既存の組織を拡大するという方法があるのではと思います。</p> <p>神奈川県さんも大いにかかわっている組織ですので、ご検討いただければと思います。</p>
16	<p>水源環境保全事業終わったら、その後の森林がまた荒廃してしまわないか心配なのですが、その後の計画があれば教えてください。</p>
17	<p>みなさま、おつかれさまでした！</p> <p>思った以上に(←失礼)有意義な内容で感動しました。</p> <p>おつかれさまでした！</p> <p>フォーラム中、自筆で記録したメモは社内に展開いたします。</p>